

大会規則および注意事項

1. 本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則に準じ、開催要項・競技要項によって開催運営される。
2. 参加競技者は胸背部にアスリートビブス（校名ゼッケン）を各自で準備する。走高跳、棒高跳、走幅跳はどちらか片方だけでよい。
1500m・3000mは主催者が用意するアスリートビブスを胸部に、また主催者が用意する腰ナンバーカードを右腰につける。競技終了後はただちに回収係に必ず返却する。
100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・リレーの最終走者は主催者が用意する腰ナンバーカードを右腰につける。主催者が用意するアスリートビブスは現地招集場所で係員から受け取る。競技終了後はただちにゴール付近で待機する回収係に必ず返却する。
3. トラック競技はすべてタイムレースとし、走幅跳、砲丸投は3回試技とする。
4. 全競技者は、種目に応じたシューズの厚さを厳守すること。
トラック競技 400mまで20mm（ハードルを含む）
800m以上25mm
フィールド競技（幅・高・棒高・砲丸） 20mm
また、シューズの前の部分の中心点のソールの厚さは、かかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
5. 走高跳・棒高跳は次の通り実施する。
走高跳 男子 145cmまでは5cmずつ、以後は3cmずつ上げる。
女子 120cmまでは5cmずつ、以後は3cmずつ上げる。
棒高跳 男子 200cmから始め、以後は10cmずつ上げる。
6. ハードルの高さ・インターバルは次の通りとする。

種目	高さ	インターバル
共通男子110mH	0.914m	13.72m-9.14m-14.02m
男子110mJH	0.991m	13.72m-9.14m-14.02m
共通女子100mH	0.762m	13.00m-8.00m-15.00m
女子100mYH	0.762m	13.00m-8.50m-10.50m
7. 砲丸投は共通男子5.0kg、共通女子は2.72kgを使用する。
8. トラック競技は、すべて電気計時とする。1500mと3000mについては、予備として手動計時も行ふ。
9. 招集は、すべて現地招集とする。トラック競技は20分前、フィールド競技は40分前（棒高跳は60分前）を基本にして、タイムテーブルにかかっている招集時間を守ることに。尚、リレー参加校については、競技開始60分前までに、正面ロビー玄関前の長机に貼られているプログラムのチーム名に○をし、第1走者～第4走者の走順を記入すること。
10. 2種目を兼ねて出場し、競技時間が重なった場合はその旨を競技役員に申し出て指示を受けること。
11. 競技参加・応援や会場施設に利用についてはルール・マナーを守ること。
(昼食の食べかす、空き缶その他のゴミは、持参した人が持ち帰るよう指導徹底してください。また選手の健康管理、貴重品の管理、食生活及び交通事故などについても適切な指導を徹底してください)

12. 学校受付は7：45から8：15までに引率責任者が行う。
同時に審判受付も行う。7：45～8：15，役員打ち合わせは、8：30から行う。

※準備を全員でお願いします

特に南部地区の生徒は必ず協力してください。

13. 生徒補助員の割り当てになっている学校は、生徒全員に連絡、指導を徹底し、責任を持って行ってください。

★担当の役員の方で、用器具の準備・片づけについて責任を持って行うこと。

係	学 校 名
ハードル	栗原，三原第三，本郷，世羅西
風向・風力	因島南，久井
競技者（ナンバーカード）	長江
スターター	三原第二，栗原
写真判定	因北，大和
決勝・計時	瀬戸田，世羅西
出発（スタブロ）	本郷，高西
走高跳	日比崎
棒高跳	世羅
走幅跳	三原第三
砲丸投	甲山
記録	宮浦

地元補助員が少ないため、お手伝い願える学校は申し出て下さい。

14. 新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる取り組みとお願い

- ① 大会当日は、選手、引率者、競技役員・審判ならびに観戦のため来場されるすべての皆様方には、マスクの着用をお願いします。選手もアップや競技中などを除き、できるだけマスクの着用をお願いします。
- ② 観戦について
感染症拡大予防の観点から、この記録会では、競技場内での応援については、「体調管理チェックシート」を正面ロビーのマーシャル（会場管理）に提出し、名札を受けとった方のみ入場を許可します。出来るだけ短時間の入場としてください。観戦が終了しましたら、名札の返却をお願いします。
- ③ できるかぎり各学校（チーム）でも、アルコール消毒液をご持参いただき、適宜、手・指先の消毒をお願いします。（会場内にも、何カ所か設置はしております。）